

老人クラブ三大活動

健康

友愛

奉仕

ねんりんおうみ

— 第72号 —

米原市近江老人クラブ連合会発行 電話 0749(52)4393



10月24日(水)に近江公民館と
きめきホールにおいて、近江老人クラブ連合会主催の「第三十五回近江高齢者大会」が開催されました。

近江高齢者大会

これらの方々には
会長より祝辞と記念
品贈呈があり、互い
の長寿を喜びあいま
りました。

また、その後のアトラクションでは、県警察音楽隊による演奏があり、最後に「青い山脈」を全員で合唱し明日への元気をいたとき幕が閉じられました。
した。



単老だより



多和田大宝クラブ 北川邦雄

多和田大宝クラブは環境整備事業の一環として、区の公共施設への清掃活動を年5回実施しています。

会員が240名程度ですので、4班に分けて神社清掃は4月と8月に実施し、墓地清掃は7月と10月に実施しています。また、役員によるグラウンド清掃を6月に実施しています。



身体を動かし、健康のためにもみなさん張り切って大勢の参加を頂いています。



寺倉区の老人クラブの会員数は、現在75名でそのうち60代が全体の約3割を占めています。これは歴代の会長さんの勧誘方法が上手で、勧説されたらとりあえず入つておこうかと、そんな雰囲気になってしまるのが実情です。そして当初名前だけの会員さんも2~3年過ぎると会社等を退職したり、ゆとりが出てくると、積極的に老人クラブの活動に参加されます。

老人クラブの活動は、多岐にわたり老人クラブが動かなかつたら、寺倉は動かないくらい区のために、いろんな行事に参加・協力し活発に活動しています。

区にはボランティアの組織がありますが、その会員さんはほとんど老人クラブの会員で、区の行事である通学合宿・納涼祭・世代交流会及び学童の迎え・お地蔵さんのお世話・神社・公園の除草・清掃作業・独居老人宅のごみの搬出等元気な会員さんを中心にやってあります。

寺倉老人クラブ 広田治夫

このように各種行事や作業に積極的に取り組み区の発展に寄与しています。

これから団塊の世代のルーキーの人達がどんどん入ってきます。ちなみに今年度の入会者は、7名と老人クラブも大変若返っていますが、常に「初心を忘れず」区のために少しでも役に立つよう一致団結し、寺倉区と共に発展して行くよう願づばかりです。



世代交流会=子ども会と老人クラブの様子

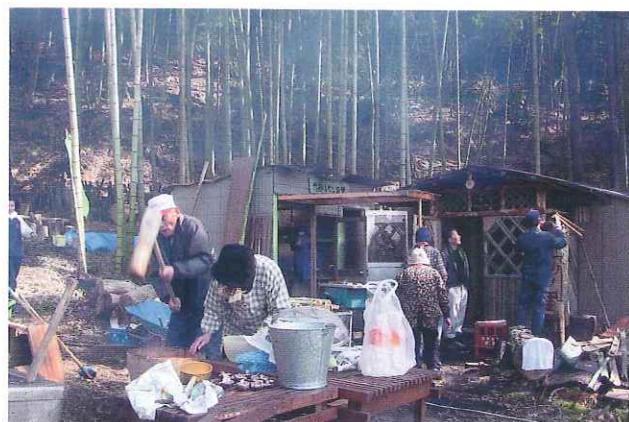
雑感

日光寺 Y・S

老人会の行事で墓地の除草作業に行くと、あちこちの土に穴が開いていました。聞くところによると、イノシシが土の中のミミズなどを食べるため掘つた穴のようです。

イノシシの被害は何年か前から畠や田を荒らし、特に今年はより被害が大きいと聞きます。田の周囲にネットや柵などまた赤色灯が夜通し光り、爆竹音が響いています。爆竹も少しづつ時間をあいて鳴らしているようですが大変な労力と出費です。しかしイノシシが田の中で暴れる这样一个のコメはもう食べることができないくらいに臭いそうです。どうしてこんなに獣害が増えてしまったのか?

いろんな理由があると思いますが、一つに私たちの生活様式が変わり、山での薪木つくりは全く行われず山は放置されています。



つぶやき

世継福寿会 S・F

山林を昔の里山に少しでも甦らせることができないかと、発案された方によって「竹林いやしの里」というネーミングのもとボランティア活動が始まりました。

イベントの時など釜で炊き込みご飯を作ったりでみんな集まりいろんな話が飛び出しつつあります。

山を整備し美しい里山を作り少しでも獣害のない地域づくりに参加でき、健康で皆様の仲間に入れてもらえることに感謝しているこの頃です。

先日、115歳のご高齢の方がテレビに出てあられました。「夢じやないな、百歳も私なんぞまだまだ若僧や」と。

私の幼馴染も今年は、老人会長とか。何んでもない、老人会長ならぬ青年会長みたいなもんです。いつもおしゃれで、トーキーも饒舌でユーモアたっぷり。いつもみんなを笑わせ和やかな雰囲気に包んでくれます。

私もお陰様で今年3月に退職させていただき、本格的にお仲間入りさせていただいた世継福寿会ですが、回を重ねるごとにみなさんとお会いできるのが楽しみになつてきました。皆さんには片やいきいき体操で若さに磨きをかけ、片や何かお役にた



つじとをと安全パトロール隊を結成し、毎日子供達を見守つてくださっています。また、世継はお陰様で良い環境です。父がいつも言います。「いろんな災害などあってもこの辺は何時も守つてもらえて良いところ」と。確かにそういうのです。

深まりゆく秋、いろいろと思いつながら人様とのふれあいの中いつも笑顔で、「おはよのさん」「おしまいやす」と声掛け合い楽しい暮らしへ幸せを感じる今日この頃です。



米原市老ク連スポーツ大会は9月25日(火)長浜ドームにおいて行われ、近江老ク連より役員、選手含め137名が参加し、日頃の練習の成果をいかんなく発揮し正々堂々と戦いました。選手はもちろん、応援も熱が入り、ドーム内が大変盛り上がりました。成績は近江老ク連に上位入賞が数チームあり、その結果を一覧表に入れました。



第一十二回 米原市老ク連スポーツ大会

順位	ゲートボール	グラウンドゴルフ	ペタンク		公式ワナゲ	
			男子	女子	男子	女子
1	磯	宇賀野	大清水	池下	天満	母の郷
2	梅ヶ原	筑摩	村居田	梅ヶ原	伊吹	舟崎
3	岩脇	上野	東畠場	世継	世継	南三吉
4	大鹿	上丹生	能登瀬	東畠場	大清水	山室
5	能登瀬	米原A	梅ヶ原	下板並	大鹿	伊吹

余談ですが、囲碁は認知症予防にも有効だそうです。メンバーの悩みは、平均年齢などどんどん高くなっています。

囲碁を覚えたい人、対局相手に不自由している人、初心者歓迎です。ぜひ、囲碁クラブを気楽に覗いてみてください。



代表 北村 四五子
月に2回第2・第4火曜日に丸本先生に教えて頂きながら編んでいます。

何を編むのかを考えるのを楽しみにしています。手編みなので時間はかかりますが2枚と同じ作品はありません。とても暖かで仕上がったときの喜びは格別です。

代表 前川 和良
毎月第1・第4曜日に近江公民館で対局研修、毎週金曜日には、やすらぎハウスにおいて対局研修、会員16名による年4回の囲碁大会の開催、他に毎年春秋の2回市内外の囲碁愛好家による囲碁大会（中日新聞社後援）開催など活発に活動しています。

余談ですが、囲碁は認知症予防にも有効だそうです。メンバーの悩みは、平均年齢などどんどん高くなっています。

近江囲碁クラブは、現在16名で活動しています。

毎月第1・第4曜日に近江公民館で対局研修、毎週金曜日には、やすらぎハウスにおいて対局研修、会員16名による年4回の囲碁大会の開催、他に毎年春秋の2回市内外の囲碁愛好家による囲碁大会（中日新聞社後援）開催など活発に活動しています。

近江囲碁クラブ

いきいき活動



編物クラブ



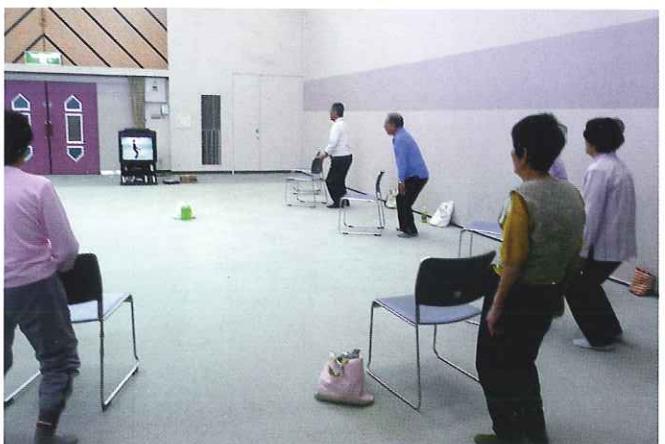
歩楽るん教室

代表 嶋 久行
健康の秘訣は、どうやら運動にあるようです。元気で活動するには、足腰を強くしておくことが大事と言われています。

やすらぎハウスでは、毎週金曜日にほたるん教室を開いて体

月に2回づつ始めて今年で24年目に入りました。編み物の好きな方などあなたでもお待ちしています。

操をしています。その内容は、米原市で進めている体操で準備体操から床である運動、立つてする運動、ダンベル体操などが主な内容になっています。体操時間は、全体で約15時間のもので休憩を取り身体に合わせながら十数名が楽しくやっています。「もう歳だから運動してもしかたがない」と思わないでください。人間は70歳、80歳からでも体を動かせば運動能力が高くなるといわれています。



写友ふたば

代表 村居幸路

昭和58年に結成した「写友ふたば」は、年齢が85歳の人を筆頭に会全体で18名です。

この会では、年1回の1泊撮影旅行を含め県内外へ月1回撮影に出かけます。皆さんは、旅行が目的のような感じで、出かけると冗談が飛び交い明るく、楽しい撮影を心がけ、作品づくりに励んでいます。今では滋賀県展、長浜市・米原市の各市展で入賞される実力者もいます。



入会希望者は、近江公民館へ御一報をください。一緒に楽しみましょう。

参加団体22チームで近江老くりチームは敢闘賞を初めて受けましたが、改めて自転車の運転技術の難しさと、マナーの大切さを知られました。

歩行者に追突したり車にはねられたり、自転車は加害者にも被害者になります。日頃から自転車の点検整備も受けておきましょう。

体育部

滋賀県交通安全 高齢者自転車大会

10月17日(水)守山市民体育館で滋賀県交通安全高齢者自転車大会が開催されました。

近江老人クラブから1チーム4名が参加し、交差点での方向転換、後方確認の厳守などが要求され、頑張りました。また、最終コースでは幅の狭い8の字走行、ジグザグ走行の脱輪などを厳しくチェックされました。

参加団体22チームで近江老

くりチームは敢闘賞を初めて受けましたが、改めて自転車の運転技術の難しさと、マナーの大切さを知られました。



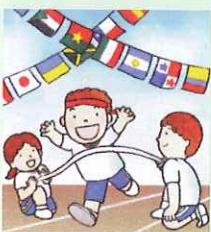
短歌

運動会

新庄 M・K

天候に恵まれ区民運動会
八十路の席に招かれし章

転んでも
ビリから走り抜きし兎に
大きな拍手で迎えるゴール



編集後記

秋日和も多く秋真っ盛りですが、広辞苑によると秋という言葉のつく語句はなんと100個を超えてあります。たとえば「秋の空」「秋風」「秋仕舞」などあります。いろんな言葉を選びながら静かな秋の夜長を過ごすのも一興かもしれません。